

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	下水道課長 安藤 俊秋		
		主管課(関係課)【2】	下水道課		
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】		
安1-3 上下水道の運営		快適な日常生活のために	安全で快適に暮らすまちづくり		
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】	
	上水道については、安定供給や災害対策について東京都と連携していく必要があります。 下水道については、管路施設、ポンプ場などを適切に維持管理していくため、下水道事業や会計の健全運営の観点で踏まえつつ、施設更新を計画的に進めていく必要があります。		・老朽化した施設の計画的な更新 ・下水道事業・会計の健全経営	上下水道の安定運営と維持管理に努め、市民の生活を支えます。	
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】				
特になし					
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】		
	1	下水道の維持管理に努めます	下水道の安定運営と計画的な維持管理		

【施策の成果】

			年度										
			19	20	21	22	23	24					
成果指標【12】	指標1	名称	下水道施設の更新(箇所数、延長など)						目標値	計画的更新		単位	—
		算出式・説明	市民生活の基盤を安定させるためには、下水道の維持管理を着実に行うことが重要です。継続的、計画的なポンプ場及び排水管の維持管理、更新を効率的、効果的に行う必要があります。目標値としては計画的更新とした上で、工事の実施状況等を今後数値化していくこととします。						実績値	0	0	0	
	指標2	名称							目標値			単位	
		算出式・説明							実績値				
	指標3	名称							目標値			単位	
		算出式・説明							実績値				
	指標4	名称							目標値			単位	
		算出式・説明							実績値				
	達成率の平均値			0%	0%	0%	0%						

【市民意見】【13】

		平成22年度	
満足度(%)		満足度(%)	31.5%
満足度(平均ポイント)		満足度(平均ポイント)	0.16
重要度(%)		重要度(%)	72.5%
重要度(平均ポイント)		重要度(平均ポイント)	1.06

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input checked="" type="checkbox"/> まだ未達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input type="checkbox"/> ほぼ平均 <input checked="" type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題(取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】		◇下水道施設の維持管理については、これまでも定期的・継続的に行っており、特に大きな問題はありませぬ。今後、老朽化する管渠は、更新に併せて耐震化を図ることが必要となります。 ◇下水道事業の健全経営については、一般会計からの繰出金が多額となっており、厳しい財政状況に有ることを踏まえ、使用料の適正化と収入の確保が重要な課題となります。		
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている <input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度 <input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均 <input type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針(具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】		◇下水道施設の維持管理については、平成22年度に策定する「下水道プラン」に適正な管理と延命、改築・更新、耐震化を位置付け、計画的な対応を図っていきます。 ◇下水道事業の健全経営については、コスト抑制に向けた取組みとして、自然流化方式への切り替えによるポンプ場の廃止や、使用料の適正化に取り組む必要があります。また、これにあわせて、市民意識の喚起を促すための啓発を行っていく必要があります。		
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】	V	コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域	
【一次評価後の事情変更等】				
説明【23】		なし		
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化		
	判断理由等【24】	上下水道の運営については、既に上水道の運営は都に移管していることから、現在は市では下水道の運営のみを担っています。今後の下水道事業は、計画的な維持管理と経営の健全化が課題となっており、市民意識調査における満足度が相対的に高い水準にあることを踏まえ、コストの効率化に努めるべきものと判断しました。		
施策実施方針【22】	VI	コストを抑制しながら成果を維持すべき施策領域		

【施策内の事務事業貢献度判定】

安1-3 上下水道の運営

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業の 評価(直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】	
	事業費	人件費				
0	0	0	-	-	下水道事業について安定した運営のもと管路施設の維持管理と適切な施設更新を行うことにより、衛生的で快適な生活を送ることができます。	B
0	0	0				